

# 北加賀屋と造船所

北加賀屋のまちを歩いてみると、住宅街と工場地帯からできているのがわかります。以前は大きな造船所があり、部品会社や倉庫がその多くを占めていたが、今は造船から自動車の部品にシフトするなど、時代とともにその姿を変えた会社も数多く見られます。

どこにでもある景色のようですが、一本細い道に入ると、アーティスティックな文字や絵画が描かれた壁やシャッター、目立つオブジェを飾った小さな劇場やカフェなどを見つけたことができます。また、古い民家やアパートなどが、アートを介してリノベーション(再生)された創造性あふれる建物もあります。



▲北加賀屋で営業する名村造船所

北加賀屋は、木津川の河口に広がるまちで、大正時代は造船業で栄え、河岸に造船所、周辺に工場、倉庫、住宅などがあり、約2万人が働いていました。その中心となっていたのが株式会社名村造船所で、約4.2万㎡(住之江区役所約22個分)の敷地で営業をしていました。

その後、産業構造が変化する中、転機が訪れます。1988年に名村造船所が、製造拠点を佐賀県に移しました。当時は賃地が返却されるだけでも珍しく、建物も再利用できる状態であったため、土地の所有者はドッグや設計棟などの構造物ごと引き取ることにしました。

ところが、造船所跡地の再利用が進まず、また周辺住民の減少・空き家の増加に歯止めがかからなかったこともあり、地域全体の勢いが低下していききました。



▲ナムラアート ミーティング

## 北加賀屋とアートの出会い

そんな中、アートを中心としたライブや演劇などのイベントで、造船所跡地を定期的に使用してほしいという申し出が入りました。これが北加賀屋とアートの出会いです。地域も勢いを再び活性化させるきっかけになり、アーティスト達も活動の場を確保できたことは大きな利点でした。

こうして造船所跡地を拠点とし、新しい芸術の提示・考察・検証・記録を行う「ナムラアートミーティング」が始まりました。それをきっかけに事務所棟の一部を創造スペースとして改装し、敷地全体をクリエイティブセンター大阪として、大規模な展示イベントにも使える施設となりました。

そして2007年に造船所跡地は、経済産業省の近代化産業遺産に認定されました。



▲北加賀屋に点在するウォールアート

この貴重な地域資源をまちの活性化につなげるため、北加賀屋を創造性あふれる魅力的なまちに変えていく試みとして、地域・地元企業・NPOが中心となって「近代化産業遺産を未来に活かす地域活性化実行委員会」が発足しました。

その当時、地域の会長を務めていた大木さんにお聞きしたところ、「近代産業化遺産に選ばれるということが、これから地元企業と地域が一体となってまちを活性化しようというまさに起点になりました。加賀屋のまちの将来ビジョンについて、熱心に議論したんですよ。それまでは別の方向を向いていた企業と地域の視点が一致した。そういう激動期でしたね。」と話してくださいました。

## 変わりゆく北加賀屋

実行委員会が推進したのが、北加賀屋を文化芸術が集積する創造拠点として活性化していくとする「北加賀屋クリエイティブ・ビレッジ構想」でした。構想内容は、アーティストやクリエイターを家賃優待、改装自由、退去時の原状回復義務不要などの特典で呼び込み、地域にアートを取り入れるものでした。

その結果、現在のアート拠点は40カ所を超えるまでになっています。その中には、アトリエや作品倉庫、工房の他にも、商店やカフェ、農園もあります。それらは、飲食の場や絵画教室、展覧会、演劇、ワークショップなどのイベントも開催しており、地域の方も一緒にアートを楽しむエリアとなっています。

このような取り組みは、国内外からも注目されており、海外アーティストが作品を滞在制作するだけでなく、アートのまちとしての観光需要もじわりと高まってきています。

アート拠点の一つである千鳥文化で働く望月さんも北加賀屋にひかれたアーティストの1人です。北加賀屋の魅力について、お聞きしたところ「昔から住んでいる方のほうが、クリエイティブ・ビレッジ構想を知らないように感じます。そういう方に、私もイラストを担当したマップ『北加賀屋カオス』などでアート拠点を紹介できることに意義を感じています。」と答えてくださいました。

造船所のまちからアートのまちへ…大阪万博とは少し違った、未来社会のデザインを感じながら北加賀屋を歩いてはどうでしょうか。

未来に向かって  
いいまちになって  
くれたらいいね!



▲大木さん

北加賀屋を探索し、  
疲れたら休憩しに  
来て下さいね。



▲望月さん

北加賀屋カオスはコチラ!

北加賀屋に点在するアート拠点等、  
魅力あるスポットを紹介しています。

(一般財団法人おおさか創造千島財団HP)

